

乳幼児の音声解析システム



荒川 薫
Kaoru Arakawa

総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 中野キャンパス1015
School of Interdisciplinary Mathematical Sciences, Department of Frontier Media Science

研究目的	乳幼児の泣き声を解析し、泣いている原因を推定して提示するシステムを開発し、これにより母親の育児の負担を軽減する。さらには昨今問題となっている、育児ノイローゼなどや乳幼児虐待などを解決できると考えられる。
研究内容	乳幼児は言葉を話さないが、泣き声などの音声を発する。この音声を解析し、そのときの乳幼児の心情を推定して表示するシステムを提案する。 特に、音声信号の、波形的特長や、周波数成分に着目して推定を行う。例えば、空腹で泣いている場合と眠くて泣いている場合を音声信号の周波数成分の特徴量により、識別することができる。
用途	育児支援システム、育児用品、玩具、ゲーム



●お問合せ先●

明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室

TEL: 044-934-7639 E-mail: tlo-ikuta@mics.meiji.ac.jp

2014年6月改訂